



高齢者によるペット 飼育の課題

少子高齢化を背景に、ペットを「家族」として迎える高齢者世帯が増えています。ペットを飼育することでフレイル予防などのメリットがある一方、さまざまな問題も起こっています。

介護サービスを利用 する高齢者を対象に 調査実施

今年度、NEXCO中日本の社員研修に郡上地域ねこ活動推進委員会が参加し、この課題に一緒に取り組みました。当センターも協力して実施した「動物（猫・犬）の飼育状況調査」の結果等について報告します。

背景① 誤った飼育による猫の 過剰繁殖

猫は非常に繁殖力が強く、不妊・去勢手術していない飼いの猫の多頭飼育、野良猫への餌やりが原因で、日本各地で猫の過剰繁殖が発生しています。

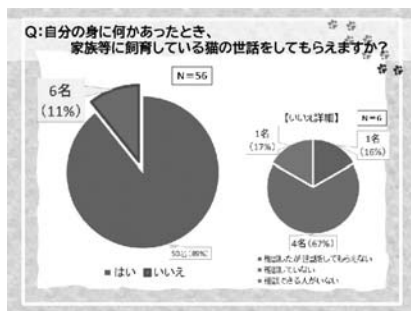
背景② 飼い主の事情による 飼育放棄

飼い主には、ペットを最後まで責任をもって世話をする義務があります。しかし、現実では飼い主の死亡や入院（入所）などを背景に、取り残されてしまうペットが後を絶ちません。これらの問題は、特に高齢者の周囲で発生するリスクが高く、高齢化が進む郡上市でも問題が発生しやすい状況です。

調査結果

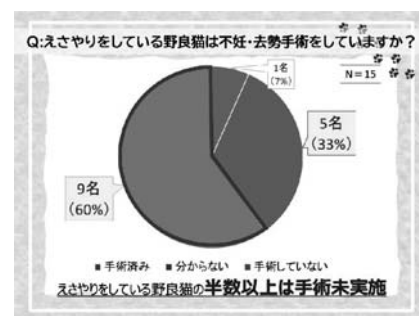
市内の在宅介護サービス利用者1,485人のうち、「猫を飼育」または「野良猫に餌をあげている」と回答した66人に対して詳細な調査を行いました。

猫を飼育している56件のうち、38件が不妊・去勢手術を実施済みでした。また、飼い主が病気等により世話ができなくなった時に、代わりに世話が任せられる人がいると回答したのは50件でした。



一方、野良猫に餌をあげていると答えた15件のうち、不妊・去勢手術を実施済みだったのは1件でした。これらの結果から、郡上市

においてはまだ過剰繁殖や飼育放棄が深刻化していないものの、今後、地域課題として発展する可能性が十分にあることが確認できました。



まとめ

過剰繁殖を防ぐためには、飼い猫に不妊・去勢手術を施すこと。野良猫には不用意に餌を与えないこと。与える時は必ず不妊・去勢手術を施し、食べ残しの処理や猫用トイレを設置するなど責任を持って管理することが必要です。

また、終生飼育の義務を果たすために、ペットの世話ができなくなったときの手段も予め考えておく必要があります。一方で、郡上市には大きな動物愛護団体がなく、先述の

問題の対応には少数のボランティアに頼っている状況です。この調査報告をきっかけに、猫をはじめとするペット飼育の課題について関心を持ち、活動を応援してください。人が増えることを期待しています。



【公式LINE】の紹介

郡上地域ねこ活動 推進委員会

- ・猫の問題を詳しく知りたい人
- ・一緒に活動してみたい人



←ぜひご登録を
お願いします！

【お問い合わせ先】

郡上市地域包括
支援センター
☎67-0008(直通)
(老後の悩みは
ゼロゼロゼロハチ)